

科目名	健康行動科学概論	code number : HBS 201	必修	2 単位
-----	----------	--------------------------	----	------

科目責任者	中尾 睦宏 教授						
配当年次	1年次	配当学期	前期	曜日・時限	水曜 3時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

行動科学理論に基づいた生活習慣の変容、健康増進活動などを導くための基本知識を学習する。古典的条件付け、オペラント条件付け、自己効力感、ローカス・オブ・コントロールといった行動科学の概念が健康評価にどのように役立つか討論する。医学・医療分野においては、認知行動療法がうつ病、社交(社会)不安障害、摂食障害、腰痛、高血圧など各精神・身体疾患において有効であることを示すエビデンスが蓄積されている。そうした最新の行動医学理論・手法を紹介し、心理社会的ストレスが心身に及ぼす影響について理解できるようにする。さらに社会行動学的な見地に立って、様々な公衆衛生学問題に対して解決策を提示し、具体的に問題解決ができる人材の養成を目指す。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 行動の成り立ち、動機付け、ストレス、生涯発達に関する基礎知識が身につく。
2. 健康を維持、促進するための基礎理論、方法論、社会的ストレスと健康についての基礎知識が身につく。
3. 社会要因や文化的要因が健康におよぼす影響についての基礎知識が身につく。
4. コミュニケーションが、健康維持、促進、医療で果たす役割を知り、促進のための方法を身につける。
5. ストレスに対する対応(ストレス・コーピング、ストレスマネジメント)に関する理論と実際の知識を身につける。

【行動目標(SBO)】

1. 上記の知識や理論的理解を用いて、困難な状況にある模擬症例にたいする治療的対応についての方略を作成できたり、健康維持、促進のための指導方略を作成できるようになる。
2. 人々が、健康な生活を送れるような行動をとることができるよう動機付けをおこない、指導できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・講義の課題、期末試験、課題レポートの提出状況を総合的に評価して判定する。

4. 教科書・テキスト

- ・日本行動医学会編集(野村忍、島津明人、堤明純、中尾睦宏、吉内一浩). 行動医学テキスト, 中外医学社, 2015年

5. 参考書

- ・筒井 末春(著), 大谷 純(著), 久住 眞理(監修). 行動科学概論(心身健康科学シリーズ). 人間総合科学大学, 2008年
- ・松本千明(著). 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎:生活習慣病を中心に. 医歯薬出版株式会社, 2002年

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・下記のテキストにそって講義を進めていく。行動医学について予備知識のない者は(例:各回のKey wordsの意味が不明)、自分に合った健康行動科学関連の書籍(下記の参考書など)を事前に1通り読んでおくことが望ましい。
- ・各回の授業内容で分からない専門用語があれば、次回までにその意味等を復習して理解しておくこと。
- ・講義ごとに2時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	4/12(水)	3	中尾 睦宏 教授	行動の成り立ち Key words: 刷り込み, 古典的(レスポナント)条件づけ, オペラント(道具的)条件づけ, 認知学習, 社会的学習(観察学習、模倣学習), 脳内神経伝達物質
2	4/19(水)	3	中尾 睦宏 教授	行動の動機づけ Key words: 動機づけ(内発的、外発的), 欲求, フラストレーション, 葛藤, 適応機制, 防衛機制
3	4/26(水)	3	中尾 睦宏 教授	ストレス(心理) Key words: ストレッサー, ストレス反応, 心理学的ストレスモデル, 認知的評価, コーピング, ライフイベント, リラクゼーション法
4	5/10(水)	3	中尾 睦宏 教授	ストレス(環境)と健康 Key words: 職場のストレス, その他のストレス(子供のストレス、育児ストレスなど), ストレス対策, ソーシャルサポート
5	5/17(水)	3	中尾 睦宏 教授	生涯発達 Key words: こころの発達, ライフサイクル, 遺伝-環境相互作用, ライフタスク(人生課題)
6	5/24(水)	3	中尾 睦宏 教授	個人差 Key words: パーソナリティ, 類型論, 特性論, ビッグファイブ, 知能, 役割論, ジェンダー
7	5/31(水)	3	中尾 睦宏 教授	対人関係 Key words: 対人認知, 欲求と葛藤, 集団心理, 社会適応, 対人コミュニケーション, 文化
8	6/7(水)	3	中尾 睦宏 教授	行動変容の理論 Key words: 動機づけ, 行動療法, 認知行動療法, 刺激統制, セルフ・エフィカシー, 多理論統合モデル, エンパワーメント
9	6/14(水)	3	中尾 睦宏 教授	行動変容の技法 Key words: 生活習慣指導, 保健指導(禁煙指導/服薬指導), ティーチングとコーチング
10	6/21(水)	3	中尾 睦宏 教授	医療コミュニケーション Key words: 保健医療情報の普及(ガイドライン、健診受診率), 患者-医師コミュニケーション, 医療者間コミュニケーション
11	6/28(水)	3	中尾 睦宏 教授	Active learning演習「公衆衛生現場における行動科学アプローチ」
12	7/5(水)	3	石川 ひろの 講師(非)	ヘルスコミュニケーション特論 Key words: ヘルスコミュニケーション、ヘルスリテラシー、説得的コミュニケーション、リスク認知、リスクコミュニケーション
13	7/12(水)	3	中尾 睦宏 教授	社会と健康 Key words: 格差と健康, ソーシャルキャピタル, 社会参加, 社会疫学, 健康の社会的決定要因, 文化能力(Cultural competence)
14	7/19(水)	3	福田 吉治 教授	社会疫学特論 Key words: 社会階層・SES、健康格差、ソーシャルキャピタル、行動経済学
15	7/26(水)	3	中尾 睦宏 教授	まとめ

科目名	健康教育学	code number : HBS 211	選択	1 単位
-----	-------	--------------------------	----	------

科目責任者	福田 吉治 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(後半)	曜日・時限	月曜 2時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

健康教育・ヘルスプロモーションの基礎となる行動科学等の理論とモデルを学び、主に、個人、集団、社会の3つのレベルに分けて、健康教育・ヘルスプロモーションの方法を習得する。演習として、得られた知識と技術を用いて、具体的な健康教育・ヘルスプロモーションの企画(評価計画含む)ならびに模擬的な実践を行う。これらを通じて、地域、職域、学校等において効果的な健康教育・ヘルスプロモーションを実践できる専門家の育成を目指す。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 地域、職域、学校等のセッティングで、個人、集団、社会の異なるレベルにおいて、行動変容、健康教育、ヘルスプロモーションに関する理論を応用し、健康教育・ヘルスプロモーションを実践できる知識と能力を身に着ける。

【行動目標(SBO)】

1. 健康教育・ヘルスプロモーションに関する主な理論・モデルを説明できる。
2. 個人、集団、社会の3つのレベルの分けて、健康教育・ヘルスプロモーションの方法論を説明できる。
3. 3つのレベルでの健康教育・ヘルスプロモーションを企画、実施、評価できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 演習の課題・レポート(50%)
 - (2) 参加態度 (50%)
- 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・国立保健医療科学院. 一目でわかるヘルスプロモーション. 2008年. (「一目でわかるヘルスプロモーション」で検索。無料ダウンロード可)

5. 参考書

- ・Egger G, et al. Health Promotion Strategies and Methods, McGraw-Hill Australia, 2013年
- ・日本健康教育学会. 健康教育—ヘルスプロモーションの展開(単行本). 保健同人社, 2003年
- ・曾根 智史, 他. 健康行動と健康教育—理論、研究、実践. 医学書院, 2006年 (原書最新版) Glanz K, Rimer BK. Health Behavior: Theory, Research, and Practice, Jossey-Bass, 2015.

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・テキスト、参考書および各授業で指定する資料に可能な範囲で目を通しておくこと。
- ・これまで実践・関係してきた健康教育・ヘルスプロモーション活動があれば、その内容をまとめておくこと。
- ・1コマにつき約2時間の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・課題やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。
- ・実際の健康教育の実践を行う場合がある。

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	11/13(月)	2	福田 吉治 教授	健康教育・ヘルスプロモーションの理論 健康教育・ヘルスプロモーションの基本的な理論・モデルについて説明を行う。
2	11/20(月)	2	福田 吉治 教授	個人を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション 生活習慣予防の面接・保健指導、カウンセリング等、個人を対象とした健康教育・ヘルスプロモーションの基本的考え方、方法論等を学ぶ。
3	11/27(月)	2	福田 吉治 教授	集団を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション 地域、職域、学校等での健康教育・健康講話など、小集団を対象とした健康教育の基本的な考え方、方法論等を学ぶ。
4	12/4(月)	2	福田 吉治 教授	社会を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション ソーシャルマーケティング、ヘルスコミュニケーション、コミュニティオーガニゼーションなど、社会全体を対象とした健康教育の基本的な考え方、方法論等を学ぶ。
5	12/11(月)	2	福田 吉治 教授	演習1:個人を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション 生活習慣病予防の保健指導等、個人を対象にした健康教育について、プログラムの立案、ロールプレイなどを通じて学習する。
6	12/18(月)	2	福田 吉治 教授	演習2:集団を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション 地域、職域、学校等の小集団を対象にした健康教育を企画し、模擬的実践を行う。
7	12/25(月)	2	福田 吉治 教授	演習3:社会を対象にした健康教育・ヘルスプロモーション ソーシャルマーケティングやヘルスコミュニケーションの考え方を応用し、社会全体を対象にした健康教育・ヘルスプロモーションのプログラムを企画する。
8	2/5(月)	2	福田 吉治 教授	まとめ

科目名	社会疫学	code number : HBS 212	選択	1 単位
-----	------	--------------------------	----	------

科目責任者	福田 吉治 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(後半)	曜日・時限	水曜 2時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

社会疫学について理解を深めるため、その背景と重要な概念を整理する。国内外の健康の社会的決定要因に関する事例や研究成果を取り上げて検討する。問題となりうる所得や教育水準などの社会経済的要因、子どもや女性の貧困、職業上の階層や雇用形態に起因する労働者の健康、地域の結びつきなどのソーシャル・キャピタルと健康について重点的に学ぶ。さらに、社会疫学の成果を根拠とした健康への介入について理解できるようにする。健康の社会的決定要因の解決策として注目される行動経済学と社会疫学との結びつき等について理解を深め、社会格差の縮小、集団の健康水準の向上を目的とした政策提言を議論する。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 社会疫学および健康の社会的決定要因の基本的な考え方や研究知見を理解し、公衆衛生の実践に応用できる知識と技術を身に着ける。

【行動目標(SBO)】

1. 社会経済的要因が健康に及ぼす影響を検証する社会疫学の概念や理論を説明できる。
2. 社会疫学の研究成果を理解し、説明できる。
3. 健康の社会的決定要因の実例を挙げて問題を整理できる。
4. 社会疫学の結果を根拠にした健康を守る対策を提案できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 授業内での発言・発表・討議参加(50%)
 - (2) 課題レポート・発表(50%)
- 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

各授業で事前の資料等を配布する。

5. 参考書

Berkman LF, Kawachi I, Glymour MM. Social Epidemiology 2nd edition. Oxford University Press. 2014
Wilkinson R & Marmot M. Social Determinants of Health 2nd edition. Oxford University Press. 2005

川上憲人、橋本英樹、近藤尚己 『社会と健康:健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ』東京大学出版会. 2015年
イチロー・カワチ 『命の格差は止められるか: ハーバード日本人教授の、世界が注目する授業』小学館. 2013年

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・指定する文献・副読本を事前に読んで理解すること
- ・事例に関する議論の際には事例に関わる諸問題について事前に調べておくこと
- ・1コマにつき約2時間程度の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・課題やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

社会疫学

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	11/15(水)	2	福田 吉治 教授 井上まり子 准教授	オリエンテーション 社会疫学を学ぶ人のために -背景と概念-
2	11/22(水)	2	福田 吉治 教授	社会経済的地位 (Socioeconomic Status) と健康
3	11/29(水)	2	福田 吉治 教授	地域の社会経済的環境と健康
4	12/6(水)	2	井上まり子 准教授	働く人と健康格差 -職業階層・雇用形態と健康-
5	12/13(水)	2	井上まり子 准教授	ソーシャル・キャピタルと健康
6	12/20(水)	2	橋本 英樹 講師(非)	健康格差の縮小に向けて:健康格差の理論
7	12/27(水)	2	福田 吉治 教授	行動経済学の社会疫学への応用
8	2/7(水)	2	福田 吉治 教授 井上まり子 准教授	まとめ 社会疫学からの政策提言

M
P
H

科目名	終末期医療実習	code number : HBS 310	選択	1 単位
-----	---------	--------------------------	----	------

科目責任者	中尾 睦宏 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	夏季(8-9月)	曜日・時限	(個別設定)	授業方法	実習

1. 授業の概要

終末期医療やホスピス・緩和ケアの臨床現場における在宅での実習を通じて、人生のターミナル期にある人とその家族に対して、尊厳ある人生を完結できるように支えるためには、医師としてどのような援助をしたら良いのか、について学習する。人間が人生の終焉を迎えるのは定めであるが、発達段階やその人の置かれた環境などによって、残された生や死の迎え方の意味が変わってくることを理解する。

具体的には疼痛管理、ホスピスケア、デスエデュケーション、スピリチュアルケア、グリーフケアなどの考え方や手法を実習で学んでいくが、その中でターミナル期にある人の全人的苦痛、家族の悲嘆、ターミナルケアのチームアプローチ、ターミナル医療の倫理的課題についても理解を深めていく。

2. 授業の到達目標

【一般目標 (GIO)】

1. がん治療における「末期がん患者」の位置づけを理解する。
2. ホスピスケア、緩和ケアの概念、歴史的な変遷などを理解し、医療における両者の位置づけを理解する。
3. 「末期がん患者」を支える医療、特に家で過ごす末期がん患者に対する医療のあり方について理解する。

【行動目標 (SBO)】

1. 在宅ホスピスケア(Home hospice care)の歴史・概念を踏まえて、施設ホスピスケア(Institutional hospice care)と連携できるようになる。
2. 地域における在宅ホスピスケアの実際に触れ、在宅ホスピスケアに貢献できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ・講義や実習に関するレポート、面接

4. 教科書・テキスト

- ・川越厚『在宅ホスピス・緩和ケア—演習形式で学ぶケアの指針』メジカルフレンド社 2004年

5. 参考書

- ・川越厚『家族で看取る癌患者—在宅ホスピス入門』メジカルフレンド社 1991年
- ・川越厚『在宅ホスピスケアを始める人のために』医学書院 1996年

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

- ・指定したテキストを事前に読んでおくこと。
- ・講義ごとに2時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ※尚、授業日時については、夏季休業前に本科履修希望者と指導担当教員にて個別に設定する。
- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	個別設定		川越 厚 講師(非)	緩和医療、ホスピスケアの概念 両者の歴史を学び、現場実習を通して在宅ホスピス緩和ケアの概念を理解する。
2			川越 厚 講師(非)	法的・倫理的課題 在宅ホスピス緩和ケアにおける法的・倫理的課題、および在宅ホスピス緩和ケアに関わる専門職の法的根拠と役割について理解する。
3			川越 厚 講師(非)	介護保険と地域ケアシステム 在宅ホスピスケアに必要な介護保険の知識、地域ケアシステムを理解する。
4			川越 厚 講師(非)	チームケア 在宅ホスピスケアのチームケアの原則を理解し、ケアチームの一員としてカンファレンスで意見を述べる。
5			川越 厚 講師(非)	末期がん患者に対するケア(1) 末期がん患者を苦しめる症状の緩和、特に疼痛管理の方法と死までの病状経過を理解する。
6			川越 厚 講師(非)	末期がん患者に対するケア(2) チーム(interdisciplinary team)として関わることを学び、在宅での末期がん患者に必要な医療計画を立案し、発表する。
7			川越 厚 講師(非)	末期がん患者に対するケア(3) 末期がん患者と家族が抱える心理・社会・霊的な問題、および家族を失った人の悲嘆を理解し、悲嘆のケアについて述べるができる。
8			川越 厚 講師(非)	末期がん患者に対するケア(4) 在宅死を前提とした「死の教育」および末期がん患者と家族とのコミュニケーションの原則を理解した上で、コミュニケーションをとることができる。

科目名	特別講義(社会行動科学Ⅰ～Ⅲ) ^(※)	code number : HBS 401～403 ^(※)	選択	1 単位
-----	--------------------------------	---	----	------

科目責任者	Ichiro Kawachi 客員教授 ^(※)						
配当年次	1・2年次	配当学期	冬季(1-2月)	曜日・時限	4日間	授業方法	集中講義

1. 授業の概要

人々の健康状態を評価しその理論モデルを構造化するための基本知識を網羅する講義を行う。疫学研究を実証的に進めるために必要な概念や手法を学ぶ。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1.社会階級、性別、貧困、収入格差、ソーシャルネットワーク/サポート、コミュニティの結束、心理社会的な仕事環境、近隣関係など社会的要因が人々の健康に及ぼす影響について理解する。

【行動目標(SBO)】

1.上記の考え方をいながらハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを説明し、コミュニティレベルの健康決定要因、ソーシャルキャピタル、職場ストレスモデルなどに基づいた人々の健康問題への介入方法を提言できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

(1)筆記試験(100%)

4つのショートエッセイ形式の問題を含めた2時間の筆記試験を行う(最終日の午後に実施予定)。

4. 教科書・テキスト

・Berkman LF & Kawachi I (eds). Social Epidemiology. New York: Oxford University Press, 2000.

5. 参考書

・講義で紹介する。
・カワチ イチロー. 命の格差は止められるか: ハーバード日本人教授の、世界が注目する授業, 小学館101新書, 2013年

6. 準備学修の内容およびそれに必要な時間

・事前にテキストや講義用資料が専用HP上に公開される。
・当該期間に8時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

・各回終了後には、日本人教員とTAによる補講が行われる。
・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。
(※)年度により開講内容が異なる場合があり、Ⅰ～Ⅲのいずれかを開講する。
(※)担当教員については変更となる場合があるが、その場合は記載がある予定教員と同等レベルの教員が任命される。
(※)また、具体的な授業日時、授業内容については毎年9月-10月頃に設定され、決まり次第学生に対して通知する。

<授業計画>

特別講義(社会行動科学Ⅰ～Ⅲ)(※)

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	1/6(土)	1	Ichiro Kawachi 教授(客)	健康の社会決定要因の概説
2	1/6(土)	2	Ichiro Kawachi 教授(客)	社会経済状態、測定と原因とみなせるエビデンス
3	1/7(日)	1	Ichiro Kawachi 教授(客)	収入格差と健康
4	1/7(日)	2	Ichiro Kawachi 教授(客)	ソーシャルネットワーク、ソーシャルサポートと健康
5	1/8(月)	1	Ichiro Kawachi 教授(客)	ソーシャルキャピタル、社会の結束と健康
6	1/8(月)	2	Ichiro Kawachi 教授(客)	心理社会的な仕事環境と健康
7	1/9(火)	1	Ichiro Kawachi 教授(客)	行動経済学と公衆衛生
8	1/9(火)	2	Ichiro Kawachi 教授(客)	健康格差の是正:政策の観点から